

# 農繁期 レポート

令和3年 6月号

## エースファーム

|      |           |
|------|-----------|
| オーナー | 株式会社エース   |
| 水田面積 | 20.1アール   |
| 保証量  | 玄米 905kg  |
| 形態品種 | 特別栽培コシヒカリ |



## 生産者 高橋 秀紀さん

6月前半は暑い日が続きましたが、中旬以降毎日雨が降って肌寒ささえ感じます。これからは中干しの時期に入ります。田んぼの水を抜き、根の張りを良くしますが、雨の日が多くなかなか思うように行きません。梅雨明けが待ち遠しいです。今のところ被害はありませんが、猪侵入対策の電気柵を設置しました。これでひとまず安心です。6/21に減反の田んぼにコスモスの種をまきました。収穫の頃には満開に咲くコスモスも楽しみです。

### 6月の作業内容と稲の成長

#### 1. 除草剤まき (田んぼの中)

田植えをしてから1週間後には1回目の除草剤を散布します。今年からエコファームグループでは除草剤散布をドローンを利用してしています。人力よりも均一散布ができること、機械を背負って水田を歩き回らなくなり、労力軽減につながっています。



#### 2. 草刈り

極端ではなく、田植え～収穫までに使う時間の大半が畔(アゼ)の「草刈り」です。畔に生えた雑草を強力な薬を使って根まで枯らす事は簡単ですが、そうすると畔が弱くなり、水田が崩れる危険性と水田にしみ込み稲にも影響を与えます。



#### 3. 草刈り (無線草刈りロボット)

エコファームグループでは無線で動く草刈り機を保有していることで、草刈り時間の大幅短縮および労力減少ができています。結果、平地より効率が悪い山間部でも大規模の作付け面積が現在対応できるようになっています。



#### 4. 水の管理

6月は一番稲が育つ時です。平均水温が23～25℃で昼夜の寒暖差が大きいとより促進されます。毎日農家さんが田んぼの水を見に行くのは、水の深さを調整することで稲の温度を上げ下げしているからです。

